

## 令和7年度 学校総合評価

### 6 今年度の重点目標に対する総合評価

学校の現状を踏まえ、今年度は、2項目に重点課題を絞って実践に取り組んだ。各重点課題の評価は次のとおりである。

#### (1) ICT機器活用力の向上

校内で、ICT支援員を講師として、全教職員を対象に「Google Formに関する研修会」と、希望者を対象に「Googleの基本操作に関する研修会」「Google Geminiに関する研修会」を実施し、2学期から各授業等でGoogle Classroomを使用して、小テストや課題提出などを行えるようにした。今回の取組を通して、5月と10月に実施したICT活用指導力調査アンケートで、『できる』と回答した割合が23%程度上昇した。また、Google Classroomを使用して保護者配付プリントのデジタル配信化に取り組んだ。取組後のアンケートでは、「プリント類がデジタル配信となり、大変ありがたい。」（保護者）や「Googleに移行したことで、業務の効率化やデジタル活用推進につながった。」（教職員）などが記載されていた。

#### (2) 歯と口の健康づくり

児童生徒に、歯の健康を守るための学習を、保護者に、歯と口の健康づくりのための啓発プリントの配付を行った。歯の健康を守るための学習では、栄養教諭が中心となり、小中学部児童生徒に対して「カルシウムの働き」、高等部生徒に対して「三大栄養素」の授業を実施したり、保健給食委員会で、「歯を丈夫にする食べ物について」の学習や、養護教諭と一緒に歯磨きチェックシートを作成し、歯磨きを呼び掛けたりした。保護者への配付プリントでは、保健便りで「虫歯予防」「歯科検診の結果」を、給食便りで「かみかみ月間」「いい歯の日」を特集記事にして歯と口の健康づくりを呼び掛けた。取組後のアンケートでは、「プリントを見て口腔衛生の大切さを再認識できた。」（保護者）や「児童生徒や教員、保護者の意識が高まり、歯磨きが習慣化しているように思う。」など記載されていた。

### 7 次年度へ向けての課題と方策

今年度の重点課題に取り上げた2項目は、様々な教育的ニーズがある児童生徒が在籍する本校にとって、大切な取組であり継続して取り組むべき内容である。次年度に向けた方策等については、以下のとおりである。

- (1) ICT機器活用力の向上については、Googleを使用した授業が増えるように、教員の要望に応じた研修会を実施し、機器の活用力の向上を図っていく必要がある。また、Google Formによる保護者からのアンケートへの回答率が低かったので、回答率を高めていけるように呼び掛けていきたい。
- (2) 歯と口の健康づくりについては、教職員は、正しい歯磨きの仕方を身に付け、継続して歯磨き指導・支援を行うとともに、児童生徒の実態に応じた学習を行い、児童生徒が歯と口の健康を意識できるように取り組んでいく必要がある。また、保護者とは、学校での取組や口腔ケア等に関する情報を共有しながら、双方で取り組んでいきたいと思う。

(様式5)

8 今年度の重点課題 (学校アクションプラン)

令和7年度 富山総合支援学校アクションプラン - 1 - 図書情報部	
重点項目	学習活動 -ICT 機器活用-
重点課題	「ICT 機器活用力の向上」
現 状	<ul style="list-style-type: none"><li>・校内会議資料や保護者配付プリント等の電子化が進んでいない。</li><li>・ICT 機器活用に関連する外部の研修会に参加しても、事例の多くが Google Workspace for Education を用いたものであり、校内で使用したり、教員間で情報を共有したりすることができていない。</li><li>・iPad 利用の多くが画像や動画、アプリの利用にとどまっており、授業への活用が進んでいない。</li></ul>
達成目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員の ICT 活用指導力調査計 16 項目において、「できる」(4 段階中一番上)と回答した教員の割合が 70% 以上。(R6 は「できる」と回答した教員の割合が 16 項目全体平均 46.8%)</li><li>・Google Classroom を用いて、保護者配付プリントのデジタル配信及び Form を用いたアンケートへの回答を合わせて年間 15 回以上</li></ul>
方 策	<ul style="list-style-type: none"><li>○業務の効率化<ul style="list-style-type: none"><li>・Google Classroom を用いて、保護者配付プリントのデジタル配信及び教員の各会議資料を電子化する。また、申請書の一部を電子決裁化する。</li></ul></li><li>○教員の ICT 機器活用力の向上<ul style="list-style-type: none"><li>・教員の ICT 機器活用力を図るアンケート調査を 5 月及び 12 月に行う。</li><li>・教員の課題状況に応じた研修会を実施する。</li><li>・各授業等の Google Classroom を開設し、授業における意見の共有や課題の提出などの機能を用いた実践を行う。</li></ul></li></ul>
達成度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ICT 活用指導力調査アンケート「できる」と回答した割合 57.9%</li><li>・Google Classroom を用いた保護者への配信 17 回 (12/24 現在)</li></ul>
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○教員の ICT 機器活用力の向上<ul style="list-style-type: none"><li>・5 月下旬に行った教員の ICT 活用指導力調査アンケート (計 16 項目) において、「できる」と回答した割合は全体で 35.2% であった。</li><li>・6/24 に Google Form に関する研修会 (悉皆) を、8/4 に選択制オーダー研修会として、Google の基本操作に関する研修会 (希望制) を、9/12 に Google Gemini に関する研修会 (希望制) を実施した。(講師は ICT 支援員)</li><li>・9 月より、各授業等の Google Classroom の開設を開始し、小テストや課題提出などの機能を用いた実践を行うなど、児童生徒の利用へと対象を広げている。</li></ul></li><li>○保護者配付プリントのデジタル配信 (業務の効率化)<ul style="list-style-type: none"><li>・4/26 の PTA 総会において、クラウドサービス利用申請書の提出を依頼し、5/16 より保護者向けの配付プリントのデジタル配信開始について説明した。</li><li>・5/16 より毎週金曜日 16 時 (終業式及び始業式は当日) に保護者向け配付プリントのデジタル配信を行った。配付プリントがない日でも、アプリを見ていただく習慣をつけてもらえるよう、「本日の配信文書はありません。」と配信している。</li></ul></li></ul>
評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教員の ICT 機器活用力は、昨年度よりも向上しており、授業に ICT を取り入れることが増えてきている。また、保護者向け配付プリントのデジタル化により、紙媒体での配付がなくなり、業務の効率化につながっている。</li></ul>
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・高等部移行支援会議等を、遠隔操作システムを利用して行ったり、個別の教育支援計画などの情報の共有化を図ったりする等、学校と社会がつながりをもつための情報共有の在り方について検討してほしい。</li><li>・多忙化につながらないよう教員の要望に応じた研修の仕組み (悉皆や希望制等) を作ったり、気軽に聴き合い、教え合えたりする雰囲気づくりが必要である。</li></ul>
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・申請書の一部を電子決裁することや毎朝の欠席・遅刻連絡をデジタル化することは現在検討中であり、次年度開始に向けて準備を進める必要がある。</li><li>・保護者向けのデジタル配信については、Google Form によるアンケートの回答率が低い。安心安全メールを使ってアンケートの回答を周知したり、デジタル配信時に保護者にアンケートの回答を促すメッセージを加えたりする等の工夫が必要である。</li></ul>

(評価基準 A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状維持 D: 現状より悪くなつた)

重点項目	学校生活 - 保健管理 -	
重点課題	「歯と口の健康づくり」	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校では、例年5月と10月に歯科検診を行っており、虫歯だけでなく、歯垢や歯肉炎を指摘される児童生徒が多くいる。このことから、昨年度、学校保健課題で「歯と口の健康づくり」に取り組み、養護教諭による歯みがき指導や歯磨きチェックシートの配付などを実施したことで、10月の歯科検診では5月に比べ、児童生徒の虫歯や歯垢、歯石にある程度の改善がみられた。また、昨年度の学校保健委員会では、委員の方から「児童生徒が主体的に取り組み活動を計画しておくが良い。」「学校医の先生のアドバイスを保護者に分かりやすく伝えると良い。」などの意見をいただいた。そこで、学校医の専門的意見を参考にしながら、児童生徒、保護者、教員が連携して、歯と口の健康づくりに取り組み、児童生徒の歯と口の健康をより高めていきたいと考えた。</li> </ul>	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯の健康を守るための学習と家庭への啓発プリントの配付を合わせて10回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校での取り組みが良かったと答えた児童生徒、教職員、保護者の割合 70%以上</li> </ul>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健給食委員会と養護教諭で歯磨きチェックシート等を作り、歯磨きの呼び掛けをする。</li> <li>栄養教諭が、歯を丈夫にする食べ物について栄養指導する。</li> <li>学校医や養護教諭からアドバイスを受けて、歯と口の健康づくりに生かす。</li> <li>歯科実習生による歯磨き指導を受ける。</li> <li>「歯と口の健康づくり」に関する啓発プリントを配付する。</li> <li>児童生徒、教職員、保護者に向けたアンケートで、歯磨きへの意識調査をする。</li> </ul>	
達成度	100% (学習11回、啓発プリント4回)	88% (児童生徒92%、教職員90%、保護者83%)
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯の健康を守るための学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学部では「カルシウムの働き」(6/4、11/13)の授業を、高等部では「三大栄養素」(9/26、10/3)の授業を実施した。</li> <li>保健給食委員会で、学校給食週間等に向けて「歯を丈夫にする食べ物について」の学習(6/25、9/17、10/22)を実施した。</li> <li>富山歯科総合学院の生徒による歯磨き指導(6/25、9/26)を、全学部(4グループ)で実施した。</li> </ul> </li> <li>○家庭への啓発プリントの配付 <ul style="list-style-type: none"> <li>保健便りでは「虫歯予防について」(春号)「歯科検診の結果について」(秋号)を、給食便りでは「かみかみ月間」(6月号)「いい歯の日」(11月号)を特集記事にして配付した。</li> </ul> </li> <li>○取組結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートからは、取組について児童生徒、教職員、保護者とも「大変良かった」「良かった」との回答がほとんどであった。また、取組に対する改善点を記入してもらう項目を設けたので、今後の参考にしていけると考えている。</li> <li>保護者アンケートからは、「歯磨きを通して親子の会話も増えたとし、前よりも歯磨きをしてくれた。」と、感想にも書かれていた。</li> </ul> </li> </ul>	
評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯の健康を守るための学習と家庭への啓発プリント配付の取組を通して、歯を磨くことの意識が高まったり、歯科健診結果では、全学部で虫歯の項目の改善が見られたりした。</li> </ul>
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の活動が見える取組であった。卒業後も「歯と口の健康づくり」は大切であり、意識を高めていく必要がある。今後も、学校から保護者への啓発活動や情報提供が重要になってくると思う。</li> </ul>	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒には、「歯と口の健康」を発達年齢に即して自覚・意識できるように働き掛けていくとともに、家庭に向けて、歯磨きの仕方や口腔ケア用品など情報を共有していきたい。</li> <li>教職員は正しい歯磨きの仕方を身に付け、歯磨き指導を継続していく必要がある。</li> </ul>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)